

令和5年度の田んぼ活動

脱穀(だっく)

令和5年9月23日大雨警報発令、作業中止

10月1日(土曜日)に延期9:30~

とても良い天気でした。

作業棟の前に大きなビニルシートを引き、脱穀機、唐箕(とうみ)を並べての作業です。

機械ではできない細かい作業は、みんなで手分けしてやりました。

大人も子どももできる作業を探して取り組みました。

足ふみ脱穀機での脱穀



脱穀機のペダルを踏みながら、乾燥した稲穂を差し込むと、粃が取られて、藁だけが残るのです。



脱穀機は初めは大人について教えてもらいます。子どもだけでも出来るようになりました。



雨が塗り始めました。
作業を作業小屋の中に移動しました。

脱穀機で脱穀したものを、更に丁寧に、手作業で確認して藁ともみに分けていきます。



次の作業は、唐箕（とうみ）で風を当て、実の軽い籾を吹き飛ばして、よく実った籾を取り出します。



いろいろな作業を通して、子どもと大人たちがいつの間にか仲良く関わりあっていました。